



令和2年9月8日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募について ～日本を変える、世界を変える、あなたが変わる！～

JST（理事長 濱口 道成）は、ムーンショット型研究開発事業において、新たなムーンショット目標を検討するに当たり、そのアイデアを広く公募します。

ムーンショット型研究開発事業は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的研究開発を推進すべき分野・領域などとして文部科学省により定められた研究開発構想に基づき、研究開発を推進するものです。JSTは、すでに決定された7つのムーンショット目標のうち、4つのムーンショット目標について、その達成を目指す研究開発を推進するプロジェクトマネージャーの募集を行い、選考を進めています。

一方、わが国は新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の社会が急速かつ著しく変容していくことが想定されます。ポストコロナ／アフターコロナ時代における社会像を明確化し、目まぐるしく変化する経済社会情勢に対応すべく、新たなムーンショット目標を検討することとなりました。そのためには、今後の時代を担う若手人材による柔軟かつ自由なアイデアや、国内外の多様な知見の取り入れが重要です。そこでJSTは、新たなムーンショット目標のアイデアを持ち、そのアイデアを具体化・精緻化するための調査研究を行う、目標検討チームを公募します。

採択された目標検討チームは、将来の社会経済の課題やあるべき姿（ビジョン）を議論しつつ、提案したムーンショット目標の達成により実現したい2050年の社会像、目標達成に向けて取り組むべき課題、2050年の社会像からバックキャストした2030年の具体的な達成目標、目標達成に至るシナリオ、検証可能な目標達成基準などを明らかにし、報告書にまとめます。報告書に基づく評価などにより、目標検討チームのアイデアのうち、数件をムーンショット目標候補とします。その後、目標候補の内容を踏まえて、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が最終的なムーンショット目標を決定する予定です。

公募期間は令和2年9月8日（火）から11月10日（火）正午までとし、本件を統括するビジョナリーリーダーなどが目標検討チームを選考します。

＜ビジョナリーリーダー＞

総括：

渡辺 捷昭（前 トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長）

副総括：

足立 正之（株式会社堀場製作所 代表取締役社長）

天野 浩（名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授）（予定）

久能 祐子（S&R財団 理事長（米国）、Halcyon 共同創設者 兼 理事（米国）、京都大学 理事（非常勤））

＜添付資料＞

別紙：ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募の概要

＜お問い合わせ先＞

科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

小西 隆（コニシ タカシ）

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel : 03-5214-8419 Fax : 03-5214-8427

E-mail : moonshot-koubo[at]jst.go.jp

※電子メールでお問い合わせください。

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募の概要

1. 公募の趣旨

新型コロナウイルス感染症を受けた社会情勢の変化を踏まえ、新たなムーンショット目標の検討を行うに当たり、今後の時代を担う若手の柔軟かつ自由なアイデアを取り入れながら、「ポストコロナ／アフターコロナ」を見据えた将来の社会経済のあるべき姿（ビジョン）を議論していきます。そのため、新たな目標案の検討を行う若手を中心とする目標検討チームを公募します。

2. 調査研究の特徴

採択された目標検討チームは、2050年の社会像、目標達成に向けて取り組むべき課題、2050年の社会像からバックキャストした2030年の具体的な達成目標、目標達成に至るシナリオ、検証可能な目標達成基準などを明らかにします。

調査研究の遂行に当たっては、今後のポストコロナ時代において顕在化するであろう国内外の多様かつ複雑な社会的課題を先見し、その解決に資する研究開発の在り方や解決までのシナリオなどについて、他の目標検討チームとの意見交換や協働などを図り、さらには国際的な意見交換の場を設けるなど、幅広いステークホルダーとの対話を通じて、提案したムーンショット目標候補案の具体化・精緻化を行います。

3. 応募要件

チームリーダーまたはサブリーダーのいずれかが応募してください。チームリーダーまたはサブリーダーは日本国内に法人格を持つ機関に所属していることを要件とします。

目標検討チームは、チームリーダーおよびサブリーダーを主軸に、複数名のチームメンバーで構成されていることを要件とします。また、相互触発によりアイデアを深めるため、大学・研究機関に所属する研究者だけではなく、企業（ベンチャー・スタートアップ企業含む）・非営利法人など、さまざまな業種の機関に所属し、多様な専門分野を持つメンバーで構成され、かつ、国内・海外の人材バランスやジェンダーバランスに配慮したチーム編成であるものとします。

また、チームリーダー、サブリーダー、チームメンバーは、いずれも若手人材（特に、チームリーダー、サブリーダーは20歳代から40歳代）を想定しますが、次世代を担い得る柔軟な着想を持つ人物であれば、年齢は問いません。チームメンバーは単にアドバイスを行うのではなく、当事者として調査報告書の作成などに積極的に関与することとし、学生・生徒などや、海外からの参画も歓迎します。

なお、ムーンショット型研究開発事業において、JSTが担当するムーンショット目標のプロジェクトマネージャー候補への応募者（応募締切：令和2年6月2日）が、本件に応募することも可能です。ただし、応募された調査研究課題のチームリーダーまたはサブリーダーがプロジェクトマネージャーとして採択された場合、本公募における提案は審査の対象外とします。

4. 公募期間

令和2年9月8日（火）～11月10日（火）正午

5. 採択件数

20件程度を目安とします。

6. 調査研究期間

採択日～令和3年6月（予定）

7. 調査研究費

500万円（直接経費）を目安とします。JSTは、チームリーダーが所属する日本国内の研究機関とのみ委託研究契約を締結[※]し、調査研究に係る費用を支援するとともに、採択チーム同士の連携や対話の場を設けるなどの支援を行います。

※ただし、チームリーダーが海外の機関に所属しており、JSTとの速やかな委託研究契約の締結が困難な場合は、サブリーダーの所属する日本国内の研究機関と委託研究契約を締結します。

8. 提案の受付方法

＜応募方法＞

「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）ポータルサイト

URL <https://www.e-rad.go.jp/>

＜公募要領、選考スケジュール、公募説明会＞

詳細はムーンショット型研究開発事業のホームページを参照してください。

公募情報URL <https://www.jst.go.jp/moonshot/koubo/202009/index.html>

9. 公募に関するお問い合わせ先

科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel : 03-5214-8419 Fax : 03-5214-8427

E-mail : [moonshot-koubo\[at\]jst.go.jp](mailto:moonshot-koubo[at]jst.go.jp)

※電子メールでお問い合わせください。